



---

# 2017年度上期 決算説明会

---

2017年11月6日



**朝日工業グループ**

(証券コード 5456)

---

# 2017年度上期決算概要

---

# 2017年度上期損益計算書（連結）

- 3期ぶりの上期赤字決算

● 売上高 16,592百万円

---

● 営業利益 ▲103百万円

---

● 経常利益 ▲17百万円

---

● 当期利益 ▲261百万円

---

# 連結損益前年比較

(百万円)	2016年度 上期	2017年度 上期	差異
売上高	14,655	16,592	1,937
営業利益	415	▲103	▲519
経常利益	410	▲17	▲427
経常利益率	2.8%	▲0.1%	▲2.9%
当期利益	219	▲261	▲481

# セグメント別利益

- 砕石砕砂・農業は前期比増益も、鉄鋼が大幅に悪化

(百万円)

セグメント利益	2016年度 上期実績	2017年度 上期実績	差異
鉄鋼建設資材事業	785	114	▲670
砕石砕砂・ マテリアルサイクル事業	34	60	25
農業資材事業	163	374	210
連結合計	415	▲103	▲518

# 連結貸借対照表

- 純有利子負債は▲6億円減少

(百万円)	2017年3月末	2017年9月末	差異
流動資産	14,856	16,701	1,844
固定資産	12,650	13,127	476
総資産	27,507	29,828	2,321
負債計	19,102	21,676	2,573
純資産	8,404	8,152	▲252
純有利子負債	7,361	6,718	▲643
現預金	3,336	5,118	1,782
有利子負債	10,697	11,836	1,139

# 連結キャッシュ・フロー

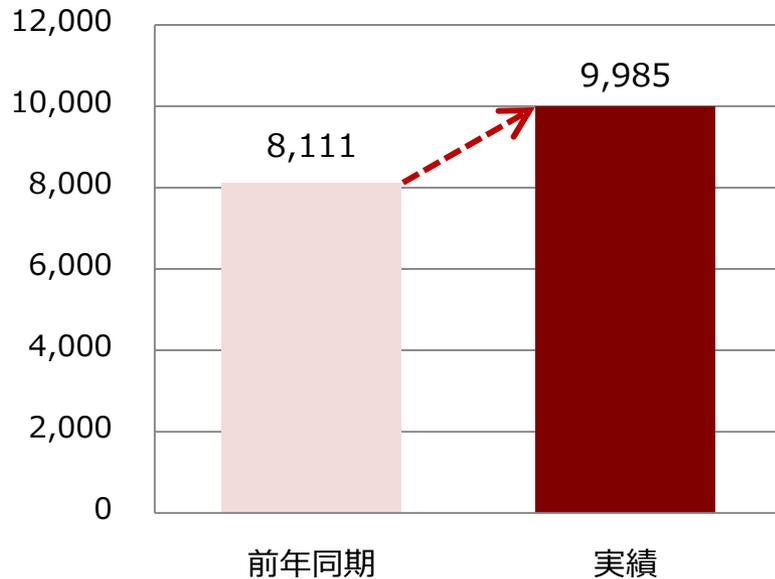
(百万円)	2016年度 上期	2017年度 上期	差異
営業活動によるC F	853	1,205	352
投資活動によるC F (有形固定資産取得)	▲60 (▲295)	▲397 (▲387)	▲336
財務活動によるC F	513	972	458
現金及び現金同等物 の期末残高	3,937	5,118	1,181

# (1) 鉄鋼建設資材事業 —実績—

## 増収減益

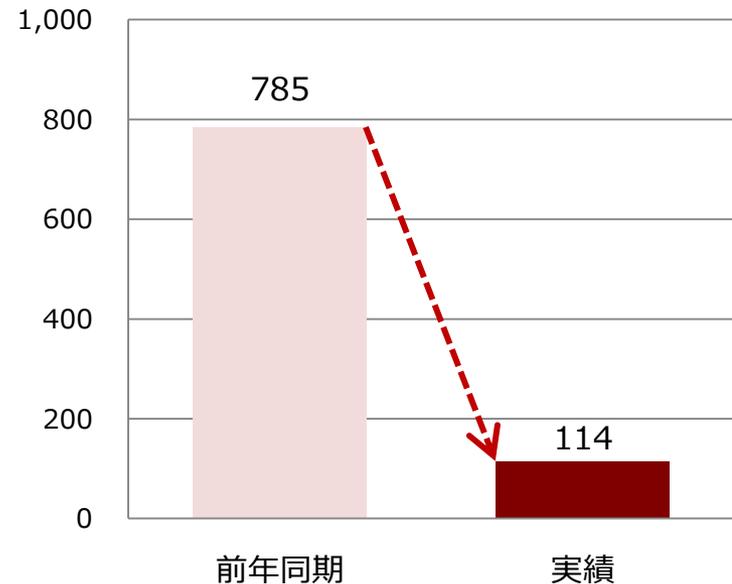
- 鉄スクラップ高騰によりメタルスプレッドが縮小
- エネルギーおよび副資材の価格上昇をコストダウンで吸収できず

【売上高 (百万円)】



前年同期比+23.1%

【セグメント利益 (百万円)】

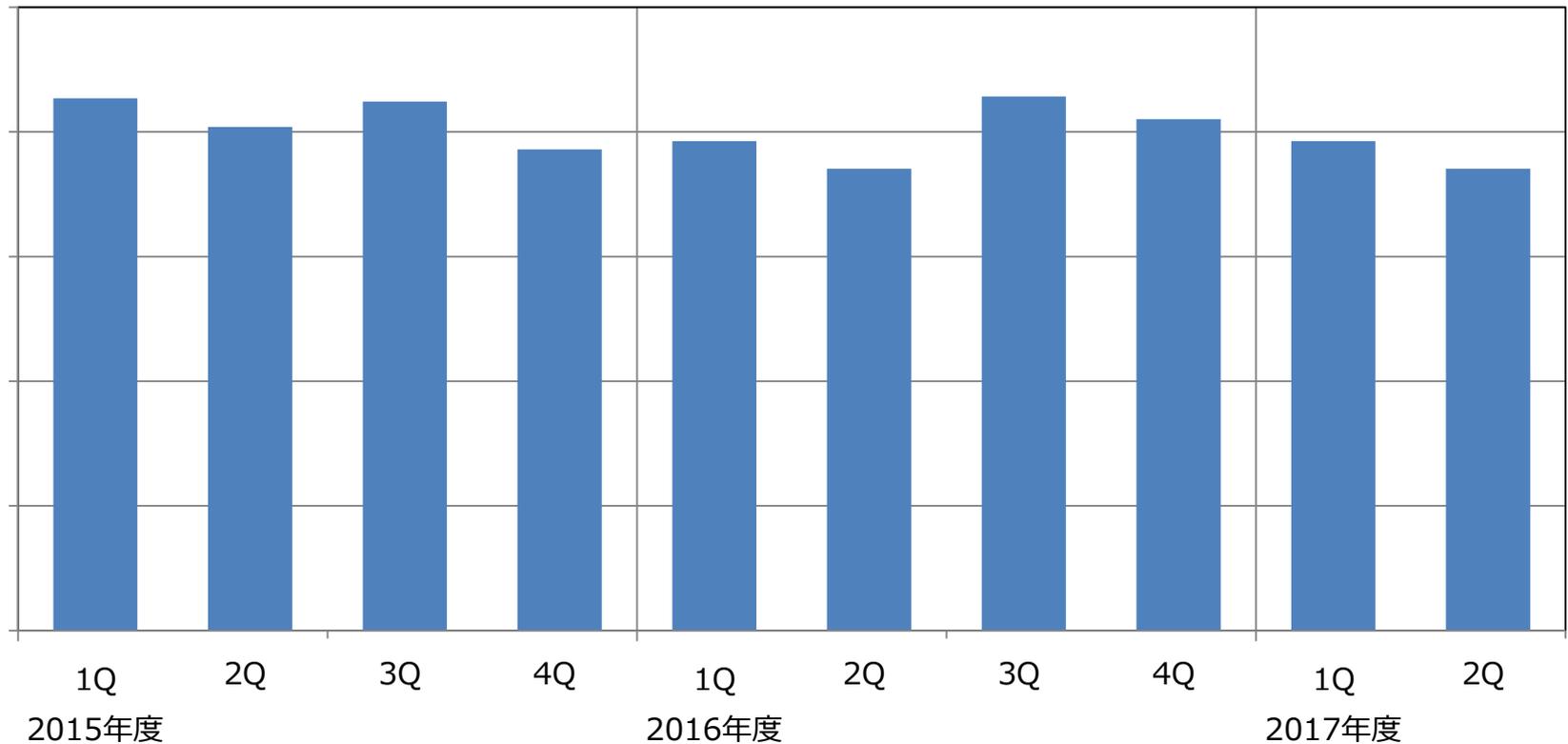


前年同期比▲85.4%

# 鉄鋼建設資材事業 — 販売数量 —

- 鉄筋需要は工事進捗の遅れで低迷。前年並みの出荷に止まる。

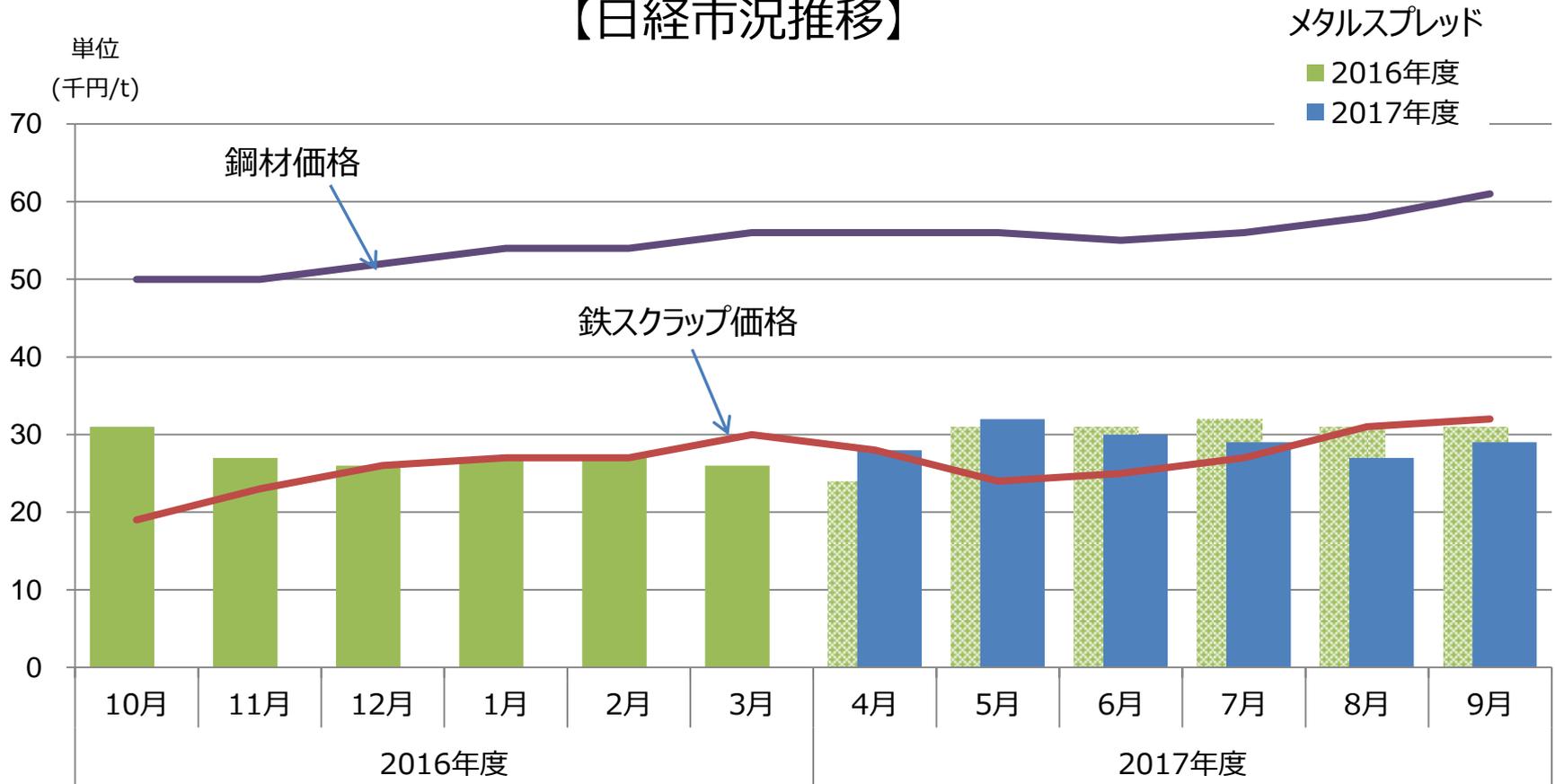
【鋼材販売数量の推移】



# 鉄鋼建設資材事業 – 市況推移 –

- 鉄スクラップの価格上昇に鋼材価格上昇が追いつかず、メタルスプレッドが縮小

【日経市況推移】

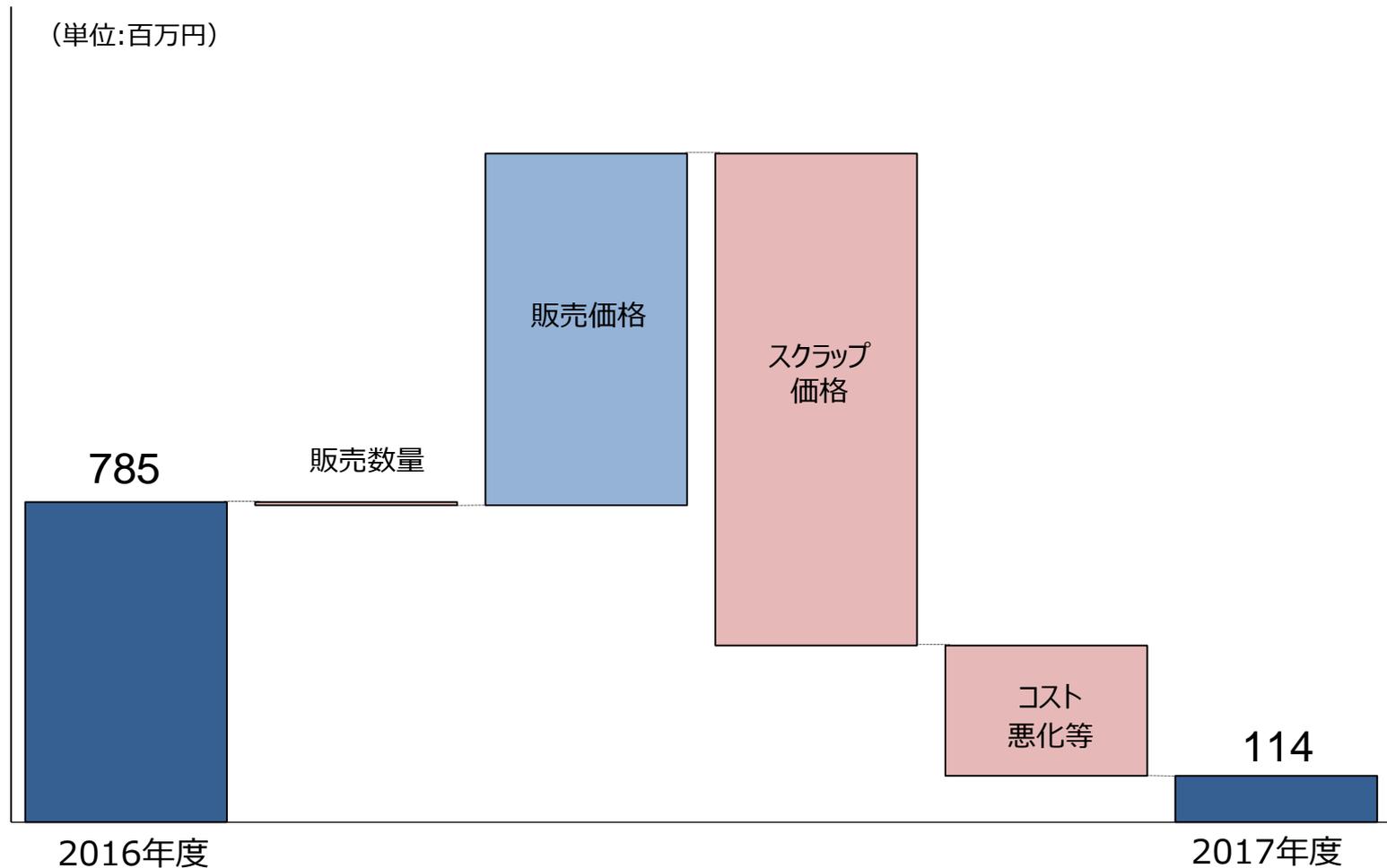


鋼材価格：日経新聞daily SD295A D16東京月末安値

鉄屑価格：日経新聞weekly 特級東京月末高値（毎週木曜日掲載）

# 鉄鋼建設資材事業 – 営業利益増減要因 –

- スプレッド悪化、副原料等コスト増が損益悪化の主因

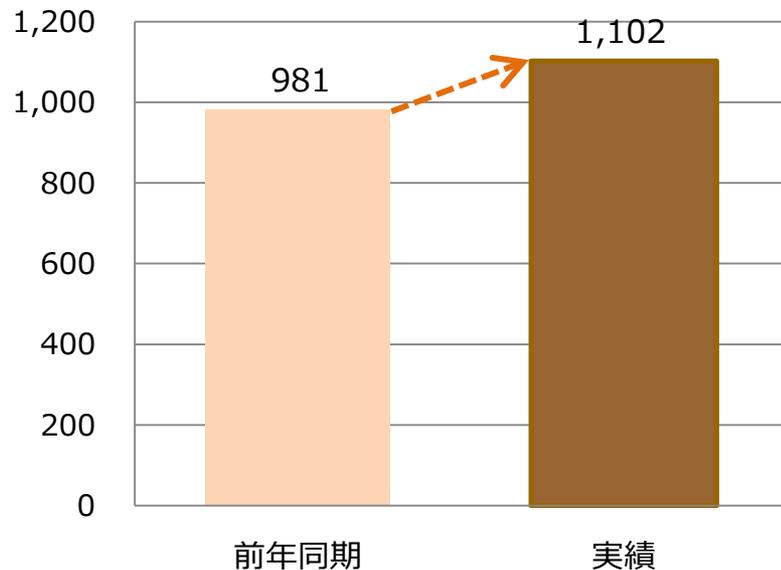


## (2) 碎石砕砂・マテリアルサイクル事業 —実績—

### 増収増益

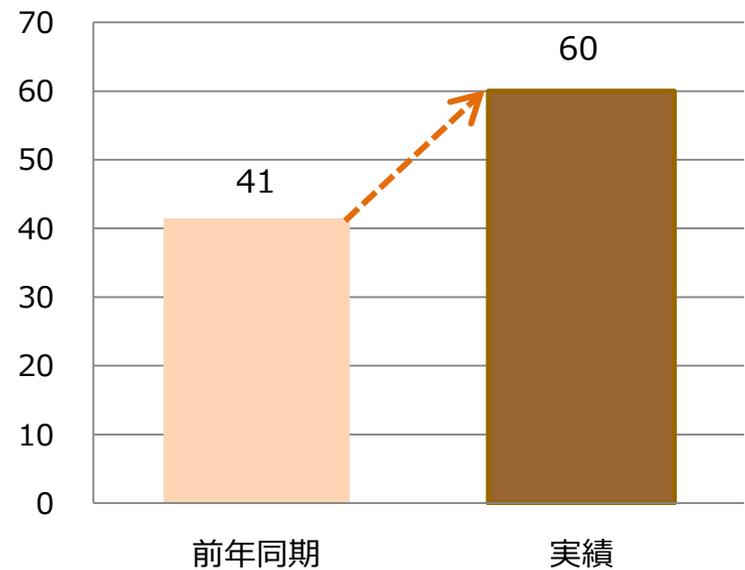
- 需要は堅調に推移
- 新砒区取得による効果大

【売上高 (百万円)】



前年同期比+12.4%

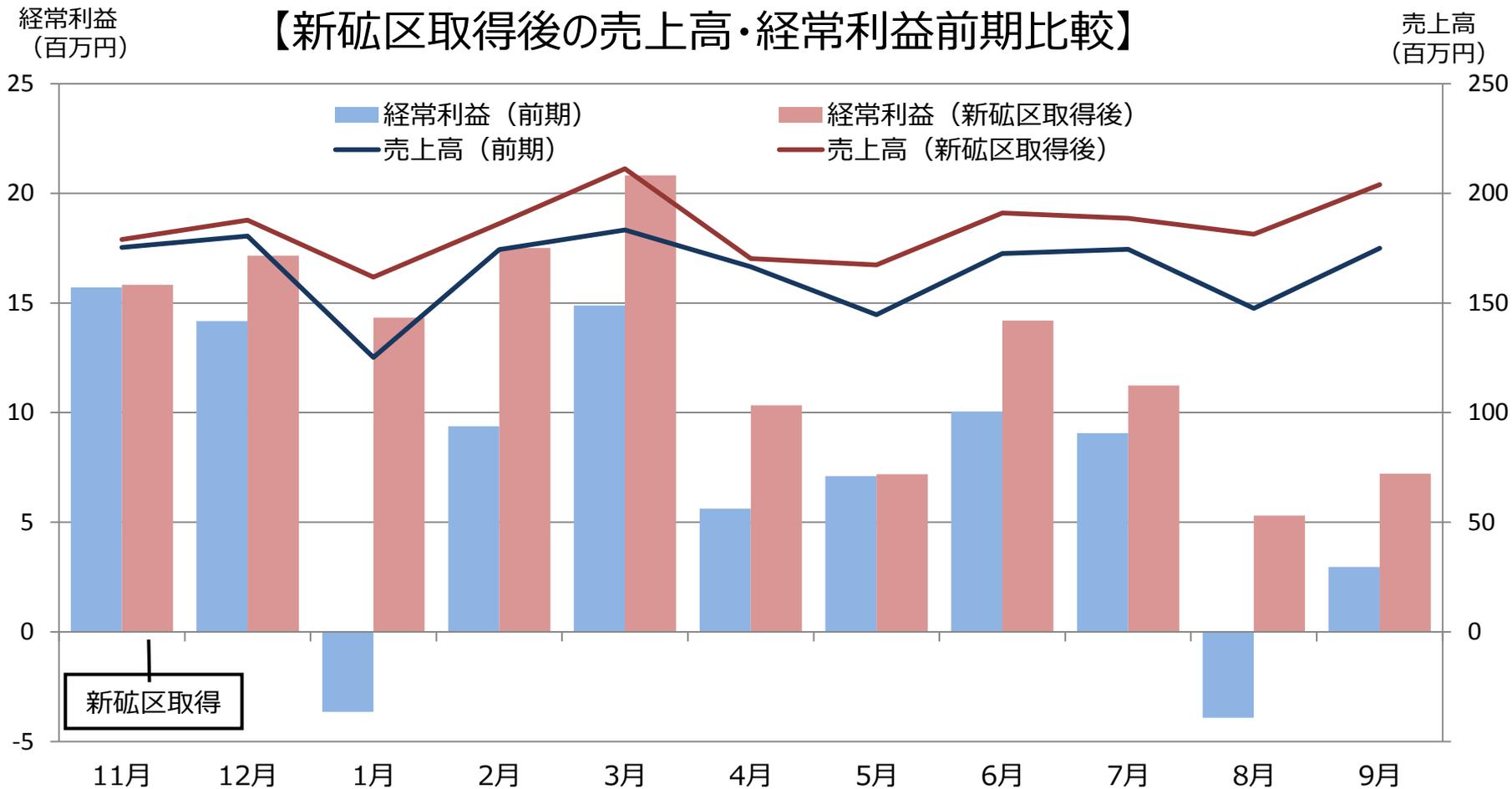
【セグメント利益 (百万円)】



前年同期比+73.8%

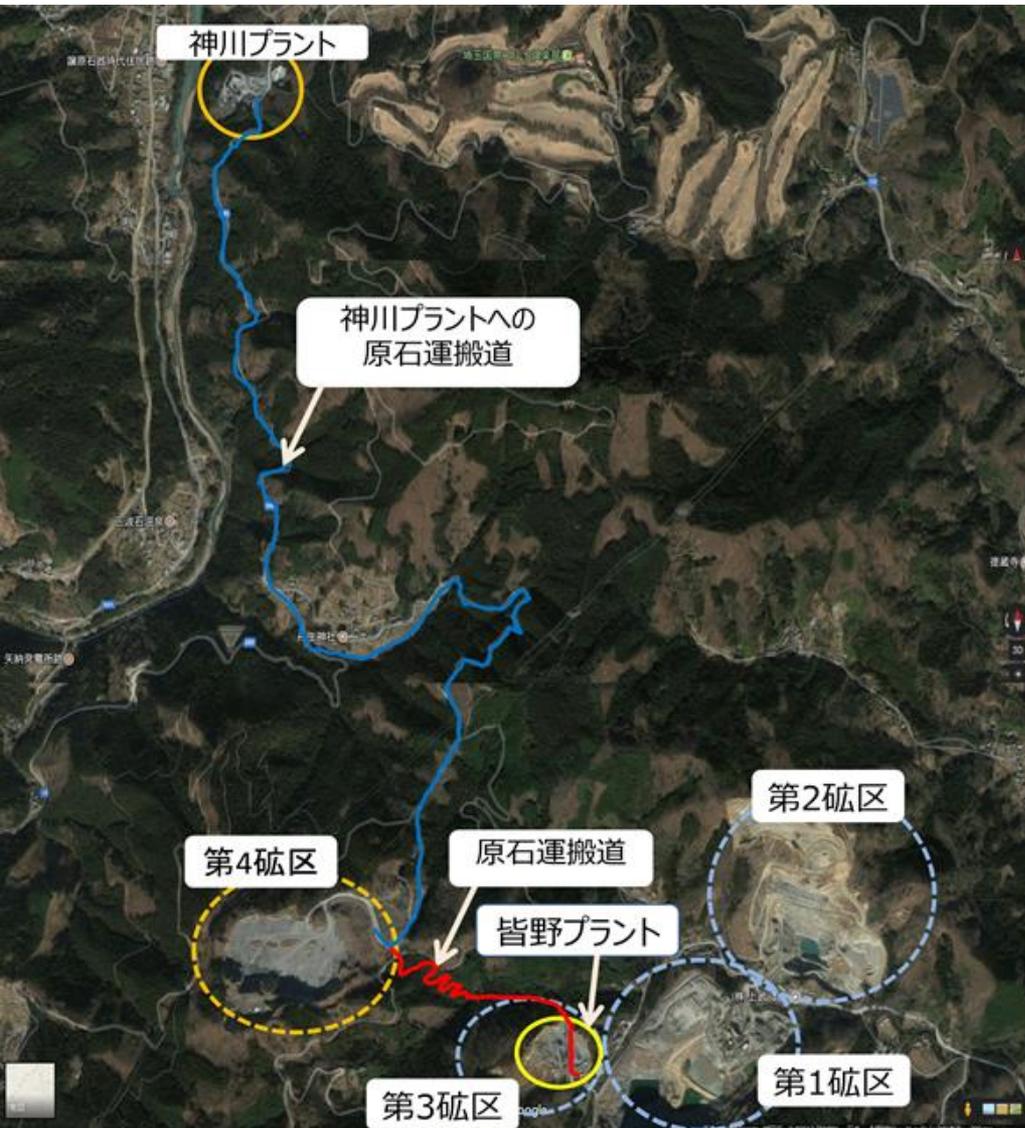
# 碎石砕砂・マテリアルサイクル事業 — 実績比較 —

- 新砒区取得後、売上・利益ともに増加して推移



# 碎石砕砂・マテリアルサイクル事業 — 運搬道 —

- 2017年10月 新砵区と皆野プラントを繋ぐ原石運搬道供用を開始



原石運搬道



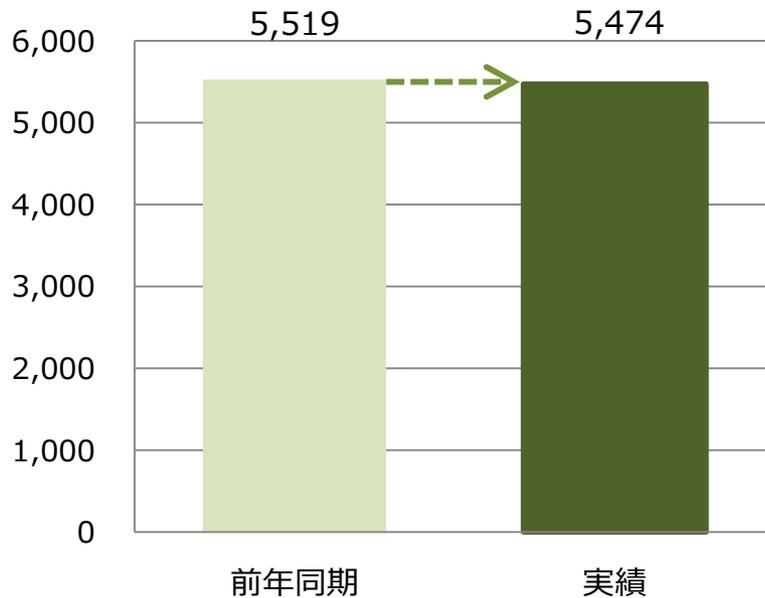
# (3) 農業資材事業

—実績—

## 減収増益

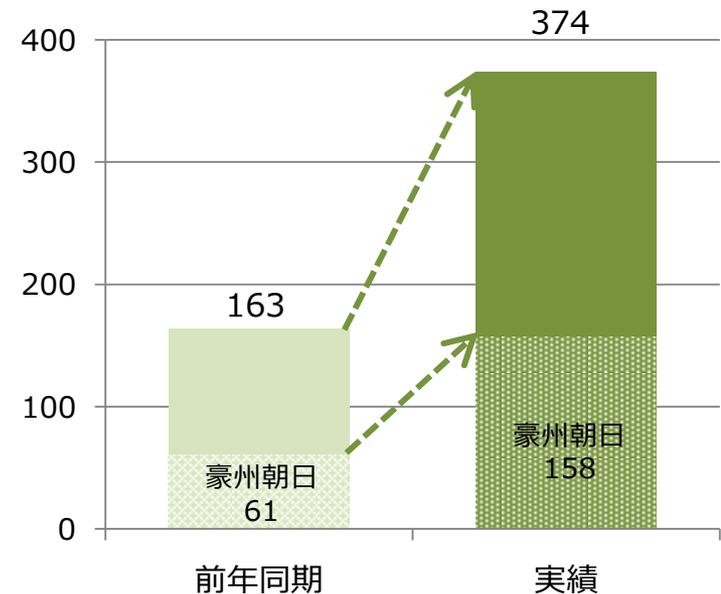
- ・ 豪州朝日(牧草)は中国向け出荷が好調
- ・ 有機質肥料の販売数量が前年比増加

【売上高 (百万円)】



前年同期比 ▲0.8%

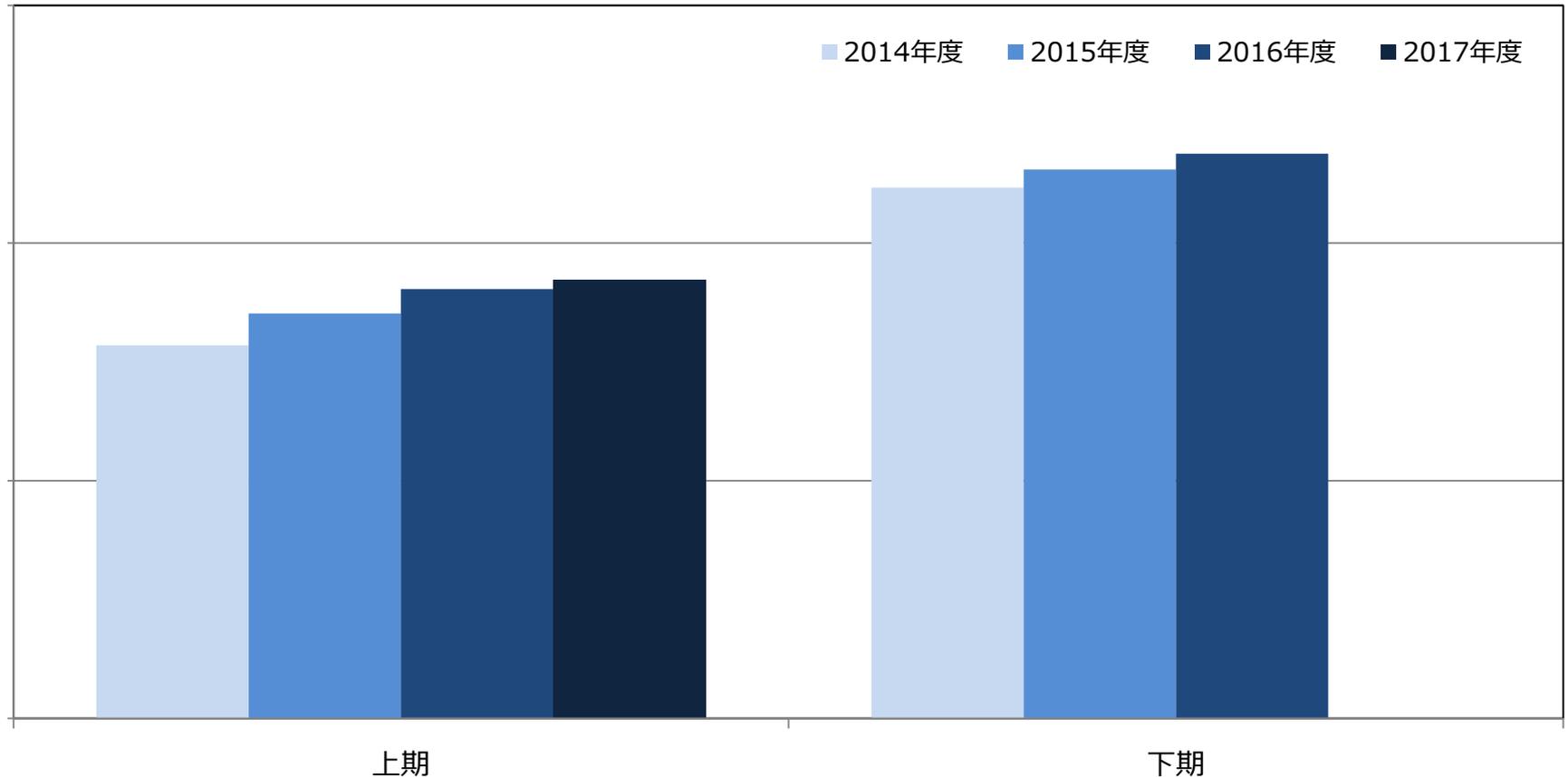
【セグメント利益 (百万円)】



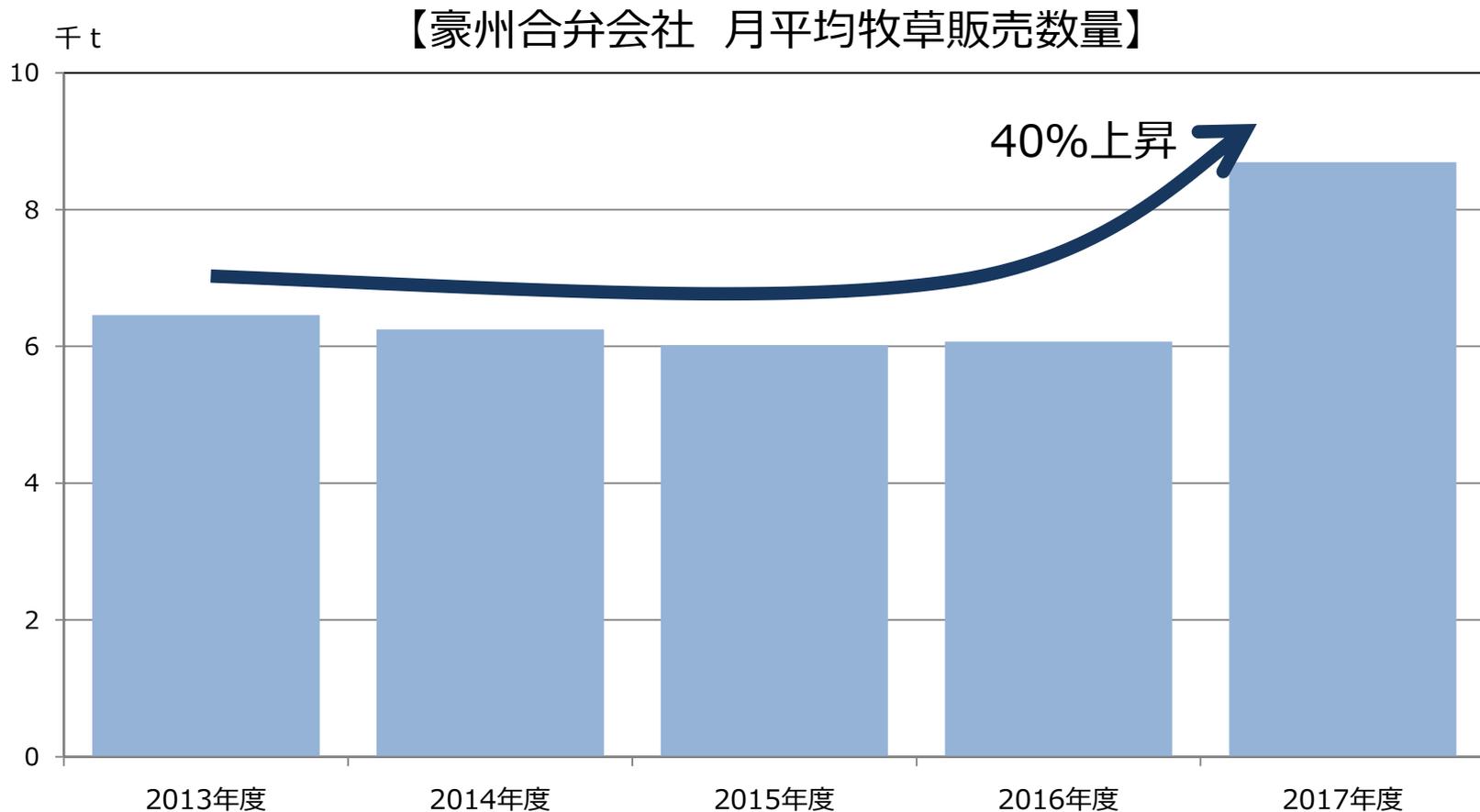
前年同期比 +129.1%

- 有機質肥料の販売数量は着実に増加

【有機質肥料の販売数量比較（過去3カ年）】



- 中国需要増により販売数量増加



---

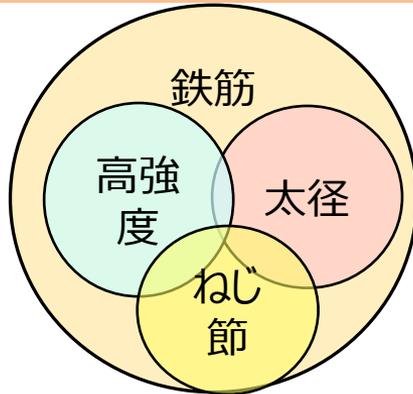
# 中期経営計画の進捗

---

# (1) 鉄鋼建設資材事業

- 高強度アイテム拡充に着手。特殊鋼も生産再開。

## スペシャリティ分野への 経営資源シフト

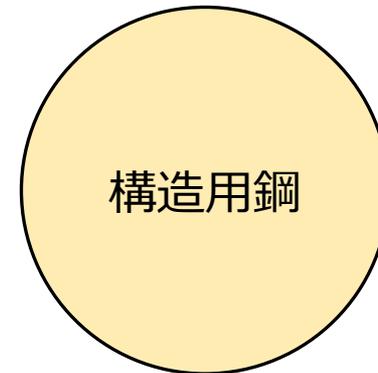


### ● 高強度アイテムの拡充

6月 拡充に向けた研究開発開始

12月 品質確認完了予定

## 製品ポートフォリオの見直し



### ● 特殊鋼の生産再開

8月 特殊鋼の試験圧延実施

規格、形状、品質等確認中  
今後設備増強の予定

## (2) 農業資材事業／肥料

- 有機：新規エリア販売を着実に拡大。主力商品「エコレット」販売数量は順調に増加。
- 無機：全農の銘柄集約の動きにも的確に対応し、主力エリアの販売数量確保

### 有機：新規販売エリアでの販売拡大

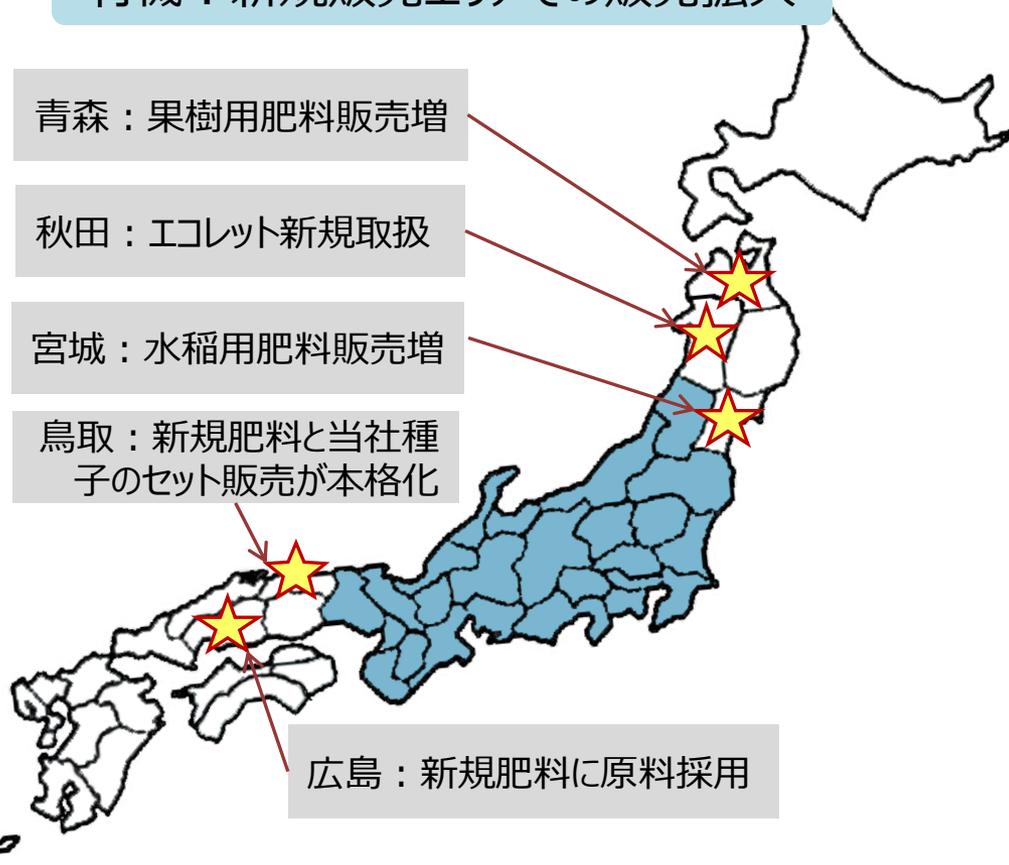
青森：果樹用肥料販売増

秋田：エコレット新規取扱

宮城：水稻用肥料販売増

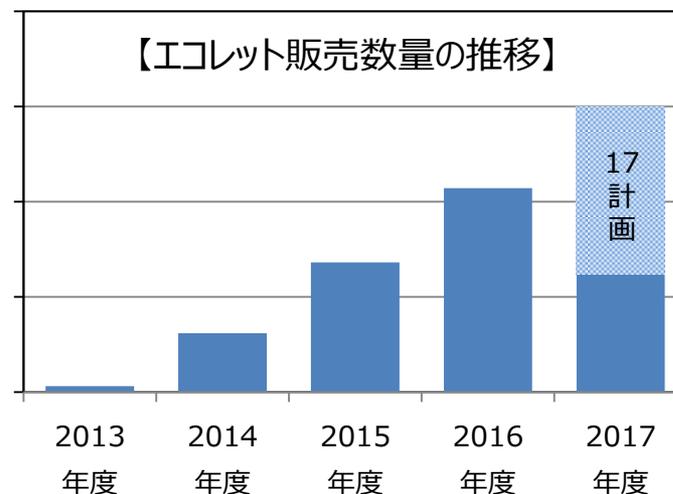
鳥取：新規肥料と当社種子のセット販売が本格化

広島：新規肥料に原料採用



### 有機：エコレットの販売拡大

【エコレット販売数量の推移】



無機（高度化成）：  
銘柄集約への積極的提案

- 主力である関東甲信越エリア、東北エリアでの販売数量を確保

# 農業資材事業／種苗・牧草

- 種苗：トマト、カボチャ、台木販売増加。また主要施策の自社品種比率も向上。
- 牧草：能力増強のため新規倉庫建設に着手。

## 種苗：自社品種の販売拡大

### ● 主要品種の試作拡大

	2016年	⇒	2017年
カボチャ	51ヶ所	⇒	106ヶ所
大玉トマト	13ヶ所	⇒	20ヶ所
ミニトマト	8ヶ所	⇒	24ヶ所

### ● 自社品種として「ブロッコリー」新規販売

試作：16県  
鳥取県にて肥料とのセット試験実施

### ● 自社品種比率向上

(上期実績) 2016年度	31%
2017年度	52%

## 種苗：安定的生産体制の確立

- 中国内に採取圃場を追加、生産を開始（4月）

## 牧草：ジョンソン朝日の設備増強

9月 新倉庫の建設開始

11月 倉庫完成予定



# (3)経営基盤強化

- 経営基盤の更なる強化に着手
- 将来の金利上昇を見据え、借入の固定金利比率を改善。

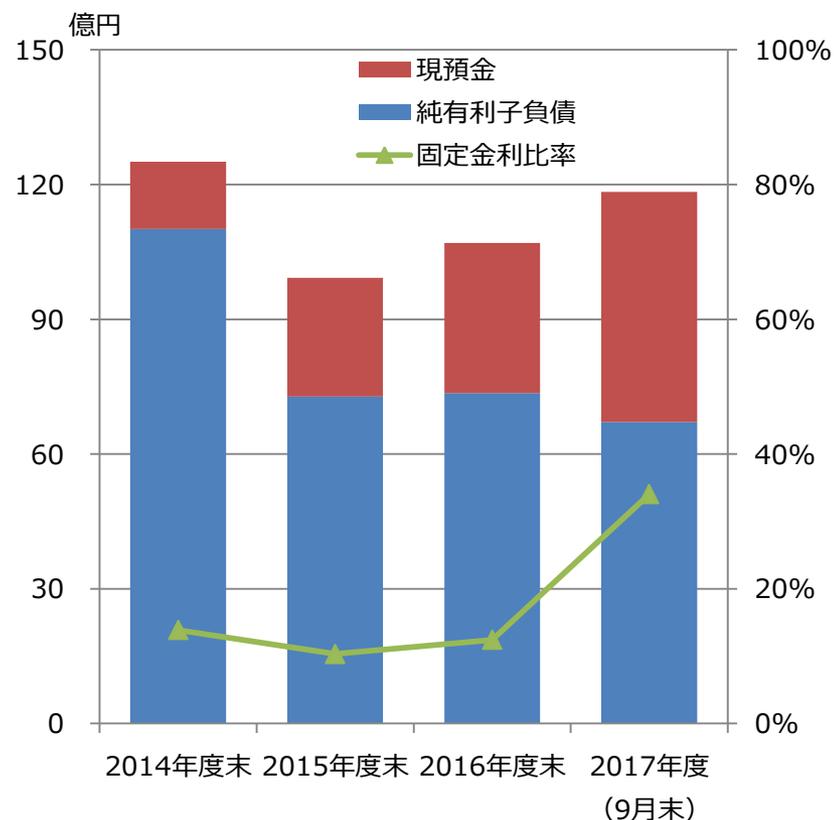
## 経営基盤の強化

2017年

関係会社への展開

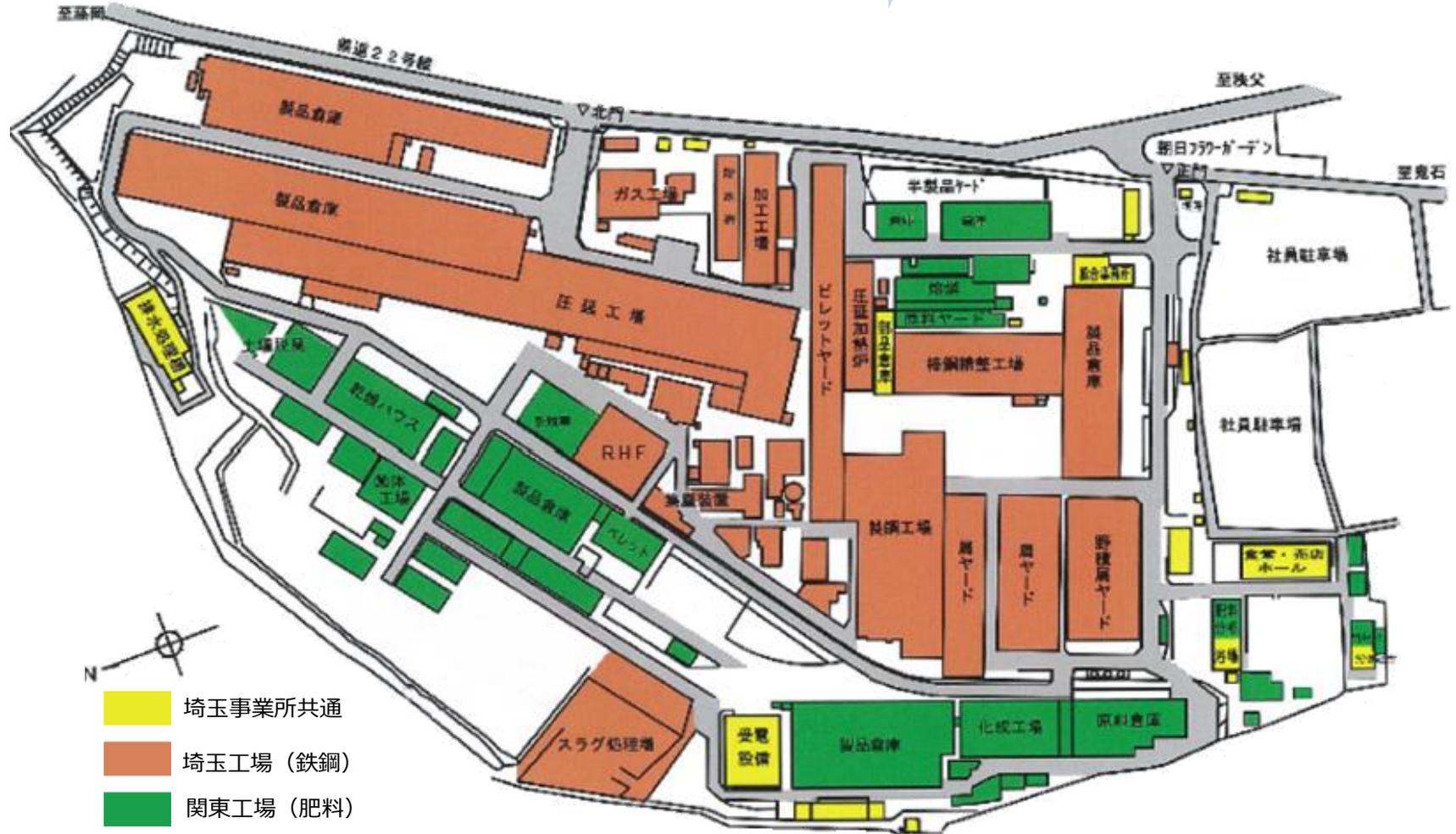
- 3月 ・人事制度改定（グループ内統一化）
- 5月 ・与信リスク管理規程導入（上武）
- 10月 ・障害者雇用における「企業グループ算定特例」認可（朝日ビジネスサポート）
- ・経理システムの統一化準備スタート（上武、朝日ビジネスサポート）

## 財務戦略



# (4) 埼玉事業所整備計画

- ・事業所内の最適配置を構築（鉄鋼・肥料の配置整理）
  - ・現行の工場立地法への対応（緑地、貯水池、緩衝帯）
- ▶ 長期的視野での整備計画



---

# 2017年度通期見通し

---

# 2017年度通期 セグメント業績見通し

セグメント	(百万円)	上期実績	下期見通し	通期見通し
鉄鋼建設資材事業	売上高	9,985	11,500	21,500
	経常利益	▲204	225	20
砕石砕砂・ マテリアルリサイクル事業	売上高	1,102	1,195	2,300
	経常利益	55	95	150
農業資材事業	売上高	5,474	7,700	13,200
	経常利益	135	375	510
連結合計	売上高	16,587	20,400	37,000
	経常利益	▲17	720	700

# 連結通期業績見通し

- 期首業績予想を修正

(百万円)	2016年度 通期業績	2017年度 通期業績見通し
売上高	32,354	37,000
営業利益	1,200	650
経常利益	1,115	700
当期利益	820	550

# 経営指標

	2016年度 実績	2017年度 上期実績	2017年度 見通し
経常利益率 (%)	3.4%	—	1.9%
ROE (%)	10.2%	—	6.4%
純有利子負債 (億円)	74	67	84

(注) 純有利子負債 = 有利子負債 - 現預金

# 配 当

	1株当たり年間配当金（円.銭）		
	第2四半期末	期末	合計
2016年度	10.00	20.00	30.00
2017年度	10.00	10.00 【予想】	20.00 【予想】

## 本資料お取扱上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。



---

# 2017年度上期 決算説明会

---

2017年11月6日

